

SDGs未来都市等進捗評価シート

2020年度選定

石川県加賀市

2021年8月

SDGs未来都市計画名

自治体SDGsモデル事業
又は特に注力する先導的取組

加賀市 SDGs未来都市計画 官民協働のスマートシティによる持続可能なまち「加賀市は、スマートSDGsへ。」

—

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

(1) 計画タイトル

加賀市 SDGs未来都市計画 官民協働のスマートシティによる持続可能なまち「加賀市は、スマートSDGsへ。」

(2) 2030年のあるべき姿

「官民協働のスマートシティによる持続可能なまち」

- ①「加賀市版RE100」の推進による持続可能な都市
②市民生活の質を向上させた持続可能なスマートシティ

(3) 2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール



(4) 2030年のあるべき姿の実現に向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2020年（現状値）	2030年（目標値）	達成度（%）
1	自治体新電力加入件数	2020年3月 70 件（高圧）	2020年 80 件（高圧）	2030年 100 件（高圧）	33%
2	MaaSアプリのダウンロード件数	2020年3月 0 DL	2020年 200 DL	2030年 5,000 DL	4%
3	コンピュータクラブハウス加賀の利用者数	2019年 800 人（年間）	2020年 1273 人（年間）	2030年度 1,700 人（年間）	53%
4	女性就業率 ※国勢調査における女性就業者数 ÷女性15歳以上人口×100	2015年度 50.9 %	2015年 50.9 %	2030年 67.4 %	0%
5	合同面接会やテレワークによる新規障がい者雇用件数	2020年3月 3 件	2020年 1 件	2030年 9 件	-33%
6	加賀市SDGsパートナー制度への登録件数	2020年3月 0 件	2020年 0 件	2030年 100 件	0%
7	自治体新電力加入件数（再掲）	2020年3月 70 件（高圧）	2020年 80 件（高圧）	2030年 100 件（高圧）	33%
8	温室効果ガスの削減	2013年 667,494 t-CO ₂	2018年 606,608 t-CO ₂	2030年 467,246 t-CO ₂	30%
9	公共施設の太陽光パネル設置数	2020年3月 6 施設	2020年 8 施設	2030年 15 施設	22%

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

（5）「2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

・MaaSアプリのダウンロード件数

2020年度に実証事業を実施。実証用アプリのDLは、モニター登録者に限定したため、現状のDL数は少ないが、2021年度中に本格運用し、一般公開を予定している。

・コンピュータクラブハウス加賀の利用者数

多様な利用者ニーズに対応し、キャリア教育を充実させるため、機能強化を図ったことにより、新型コロナウイルス感染拡大防止のため同時利用人数の制限を行っている中ではあるが、利用者数は増加している。（約59%増）

・女性就業率

2020年度の国勢調査の結果がまだ出ていないので、2020年度の実績値は算定できない。

・合同面接会やテレワークによる新規障がい者雇用件数

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、合同面接会の規模縮小と求人減少が生じ、雇用件数が減少した。今後の対応としては、南加賀就労支援強化連絡会やジョブ会などで就労支援対策を検討していく。また、テレワークでは、10月にオンラインセミナー、11月に模擬面接会を行う予定。

・温室効果ガスの削減

2020年度の実績値については、算定に必要なデータがまだ揃っていないため算定できない。

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2020年～2022年

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2018年実績	2019年実績	2020年実績	2022年目標値	達成度(%)
1	「加賀市版 RE100」の推進	自治体新電力加入件数	2020年3月 70 件 (高圧)			2020年 80 件 (高圧)	2022年 80 件 (高圧)	100%
2	加賀市版スマートシティの推進	先端技術を活用した実証実験の実施数(累計) ※官民連携によるもの	2020年3月 0 件			2020年 8 件	2022年 4 件	200%
3	「加賀市版 MaaS」の推進	MaaSアプリのダウンロード件数	2020年3月 0 DL			2020年 200 DL	2022年 2,500 DL	8%
4	「加賀市版 MaaS」の推進	MaaSアプリによる提供サービス(機能)数	2020年3月 0 件			2020年 4 件	2022年 7 件	57%
5	未来を担う産業人材の育成	コンピュータクラブハウス加賀の利用者数	2019年度 800 人 (年間)			2020年 1,273 人 (年間)	2022年度 1,500 人 (年間)	68%
6	未来を担う産業人材の育成	先端技術を活用した実証実験の実施数(累計) ※官民連携によるもの(再掲)	2020年3月 0 件			2020年 8 件	2022年 4 件	200%
7	産学官金協働によるSDGsの推進	加賀市SDGsパートナー制度への登録件数	2020年3月 0 件			2020年 0 件	2022年 30 件	0%

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2020年～2022年

(2) 自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等

SDGsの普及促進やSDGsに取組む地域事業者の技術的・金銭的支援を行える体制の整備に向け、本市の取組みに賛同いただける市内外の企業をはじめ、関係団体、市内の金融機関等を、市が登録する「加賀市SDGsパートナー制度」を創設し、地域におけるSDGs推進の「自立的好循環」を目指す。現在、制度を構築中であり、実施時期は、10月頃を予定している。

(3) 「自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

・自治体新電力加入件数

加入促進に努めた結果、早期に2022年度の目標を達成した。

・先端技術を活用した実証実験の実施数

加賀市をフィールドとする先端技術等を活用した実証実験プロジェクトを全国から公募し、その実施をサポートする、実証実験サポート事業等を実施し、積極的に市外の先進企業や高度人材の呼び込みに取り組んだ結果、2022年度の目標値を大きく上回った。

・MaaSアプリのダウンロード件数（再掲）

2020年度に実証事業を実施。実証用アプリのDLは、モニター登録者に限定したため、現状のDL数は少ないが、2021年度中に本格運用し、一般公開を予定している。

・加賀市SDGsパートナー制度への登録件数

2020年度中には制度の構築に至らなかった。実施時期は、2021年度10月頃を予定している。

・提案時のモデル事業の推進状況

Re100の推進については、自治体新電力加入件数や公共施設の太陽光パネル設置数が増加しており、順調に進捗している。MaaSの推進については、MaaSアプリの開発に時間を要しており、現時点での進捗はよくないが、2021年度中に本格運用を開始し、市民の日常生活における移動や観光客をはじめとした来訪者の移動の利便性を向上させる。

(4) 有識者からの取組に対する評価

・コロナ中であって、自治体新電力加入数、MaaSアプリ、コンピュータクラブハウス加賀利用者数、公共施設の太陽光パネル設置数等の取組について着実に実践されており、民間企業との事業連携を積極的に行って来たと評価できる。あるべき姿について経済、社会的な目標は明確であり、環境面の目標についてもSDGsとの連関の中でより幅広く具体的に検討することを期待する。

・加賀市SDGsパートナー制度への登録件数が0となっており、さらなる促進が必要である。